

町立学校の耐震化の状況・学校別一覧表

<用語の解説>

- ① 「構造」欄に「R」とあるのは、鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。「RS」とあるのは、鉄筋コンクリート造と鉄骨造の混合構造をいいます。
- ② 「区分」欄に「旧基準」とあるのは、新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは、新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。
- ③ 「新基準」との表示のあるものは、耐震性があるので、「Is値」欄はすべて「-」となります。
- ④ 「Is」(構造耐震指標)は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
国土交通省告示によれば、Is値が0.6以上の場合は地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低いとされています。文部科学省は学校施設においてはIs値を0.7以上確保するよう指導されています。
- ⑤ 「耐震診断」とは、建物が地震に対してどの程度耐え得る力を有しているかについて、構造力学上から診断するものです。
- ⑥ 非木造施設で2階建て以上、又は延べ床面積200㎡を超えるの建物について記載しています。

(H28.12.1現在)

学校名	棟用途	建築年月	構造	面積(㎡)	区分	Is値	備考
甲佐小学校	管理・教室棟	H21. 3	R	1730	新基準	-	耐震性有り
	管理・特別教室棟	H21. 3	R	1322	新基準	-	耐震性有り
	渡り廊下棟	H21. 3	R	58	新基準	-	耐震性有り
	体育館	H22. 3	RS	1500	新基準	-	耐震性有り
白旗小学校	教室棟	S54. 2	R	825	旧基準	0.78	耐震性有り
	管理棟	S59. 2	R	1099	新基準	-	耐震性有り
	体育館	H15. 3	RS	1066	新基準	-	耐震性有り
乙女小学校	管理棟	S58. 3	R	1118	新基準	-	耐震性有り
	便所棟	S58. 3	R	83	新基準	-	地震の被害によりH28年度中に解体
	介護予防拠点施設	S62. 1	R	129	新基準	-	地震の被害によりH28年度中に解体
	教室棟	H10. 3	R	2000	新基準	-	耐震性有り
	体育館	H2. 3	R	1253	新基準	-	耐震性有り
龍野小学校	教室・管理棟	S56. 2	R	1242	旧基準	0.71	耐震性有り
	教室・管理棟	S56. 2	R	457	旧基準	0.79	耐震性有り
	体育館	S63. 3	R	854	新基準	-	耐震性有り
甲佐中学校	武道場	H6. 2	R	772	新基準	-	耐震性有り
	管理棟	H24. 3	R	1949	新基準	-	耐震性有り
	教室・特別教室棟	H25. 3	R	3829	新基準	-	耐震性有り
	体育館	H26. 5	R	1978	新基準	-	耐震性有り